

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
栗田工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
日本コカ・コーラ株式会社
八千代エンジニアリング株式会社

サステナブルな水の国際認証機関 Alliance for Water Stewardship (AWS) が日本での活動を強化

ー日本メンバー5社で「ジャパン・ウォータースチュワードシップ」始動ー

MS & AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社（取締役社長グループCEO 船曳 真一郎）、栗田工業株式会社（代表執行役社長 江尻 裕彦）、サントリーホールディングス株式会社（代表取締役社長 鳥井 信宏）、日本コカ・コーラ株式会社（代表取締役社長 ムラット・オズゲル）、八千代エンジニアリング株式会社（代表取締役社長執行役員 高橋 努）の5社は、Alliance for Water Stewardship (AWS) と協働し、3月5日（水）より、ワーキンググループとして「ジャパン・ウォータースチュワードシップ（以下、JWS）」を始動しました。

昨今、日本では、水インフラの老朽化による災害や水道料金の高騰、担い手不足による水源涵養林の荒廃などさまざまな水課題が顕在化しています。また農作物の輸入においても、世界各地で頻発している干ばつや豪雨が農作物の収量に影響を与え、原材料価格高騰の一因となっています。こうした課題に取り組むため、企業が連携して水問題に取り組むことがますます重要となっており、JWSの始動は日本における水資源保全の取り組みをグローバル水準に押し上げるうえで重要な一歩となります。

JWSでは、スコットランドにあるAWS本部との連携のもと、日本国内に拠点を置く企業に対して「流域での責任ある水資源管理」を促進するとともに、企業が業界を越えて協働して流域の水資源保全に取り組む環境を整備し、国内外の流域で顕在化する水リスク対応への影響力を高めていきます。具体的には、研修等の日本語プログラム提供、企業間のネットワーキング、流域やサプライチェーンにおける協働活動、行政機関との連携等を推進していく予定です。AWSでは2025年より、日本をウォータースチュワードシップ推進の戦略国と位置づけています。

AWSは、世界自然保護基金（WWF）や The Nature Conservancy（TNC）等のNGOと企業が共同で設立した、「水のサステナビリティ」をグローバルにリードする国際機関です。ウォータースチュワードシップを「拠点および流域を起点と

する活動を伴い、利害関係者を巻き込んだプロセスを通じて実現される、社会的・文化的に公平で、環境的にも持続可能であり、経済的にも有益な水の利用」と定義し、推進しています。現在グローバルで、200以上の企業や団体がメンバーとして加盟しており、同機関による持続可能な水利用に関する国際認証（AWS認証）を約300の工場等施設が取得しています。水資源管理に取り組む意欲のある公的、民間、および一般の各団体からのメンバー加盟も募集しています（詳細は[こちら](#)）。

■AWS 最高経営責任者（CEO） エイドリアン・シム コメント

日本には、ウォータースチュワードシップへの造詣が深い企業が複数あります。しかし、いずれの企業も日本国内外で増大する水リスクに直面しており、喫緊での行動が求められています。AWSでは、日本における主要メンバー5社と共にJWSを立ち上げ、ノウハウの共有や対策強化により、活動の一層の推進を図っていきます。日本におけるウォータースチュワードシップは新たな時代が幕を開けます。より多くの仲間と共に、よりよい水の未来への道を切り開く手助けとなることを期待しています。

■これまでの各社のウォータースチュワードシップ関連活動

参画企業名	これまでのウォータースチュワードシップ関連の活動
MS & ADインシュアランスグループホールディングス株式会社	MS&ADインシュアランスグループは、レジリエントでサステナブルな社会の実現に向け、自然の保全と活用による防災・減災や地方創生を目指す「グリーンレジリエンス」に取り組み、球磨川流域での流域治水や、工場の集積が進む熊本地域の水循環保全を実装する仕組みづくりを地域の大学や金融機関等とともに推進しています。また、グループのMS&ADインターリスク総研では、企業の自然資本に関わる取り組みや水リスクマネジメント、流域のコレクティブアクションの推進を科学的知見をもとにサポートしています。
栗田工業株式会社	多様な水処理に係る製品・サービス等の提供を通じ、水資源の問題を含む環境課題の解決に幅広く貢献しています。近年は、水資源の問題解決を目的とした北米コロラド川流域・ブラジルPCJ流域・インドネシアチタルム川流域におけるコレクティブアクションへ参加するとともに、2024年からAWSに参画し、自社拠点における持続可能な水資源管理の実践にも注力しています。
サントリーホールディングス株式会社	2018年に国内初となるAWS認証をサントリー天然水 奥大山ブナの森工場で取得し、現在は、サントリー九州熊本工場、サントリー天然水 南アルプス白州工場の3工場で、当社が日本企業として唯一の最高位認証「Platinum」を取得しています。2021年からはAWS本体と協定を締結し、WWFジャパンとも連携

	<p>しながら、日本国内に拠点を置く企業へのウォータースチュワードシップの浸透を働きかけてきました。</p>
<p>日本コカ・コーラ株式会社</p>	<p>コカ・コーラ社は、AWSのグローバルメンバーとして世界各国で流域の責任ある水資源管理に取り組んでおり、コカ・コーラ ボトラーズジャパン白州工場を含む世界19拠点(2025年3月10日時点)でAWSが定める国際規格に基づく認証を取得しています。今後も事業全体を通じて流域の責任ある水資源管理を推進するとともに、多様なステークホルダーと協働し、国内におけるウォータースチュワードシップの浸透と実践を牽引する役割を担ってまいります。</p>
<p>八千代エンジニアリング株式会社</p>	<p>1963年の創業以来、長年にわたり流域における水循環・水資源に関する調査・解析に携わるとともに、国や地方自治体の水循環計画や水関連条例等の政策立案に従事しています。また、民間企業に対する水資源管理やリスクアセスメントの支援を行っており、近年AWS導入支援を通じて、流域の健全性向上に寄与しています。</p>

以 上